

2024年(令和6年)7月31日 水曜日

三種の副住職・渡邊さん

ギターを弾き語り

人生テーマに講演

能代市

能代市の有志が運営する「市民おもしろ塾」の第150回記念講演会・演奏会が、能代市文化会館で開かれた。三種町の松庵寺副住職で音楽家の渡邊英心さん(39)が、ギターの弾き語りを交えて人生

を楽しく生きるための考え方について講演した。

松庵寺の長男として生まれた渡邊さんは、東京学芸大在学中にサンバサークルに所属し、ラテン音楽に夢中になった。僧侶になってからは、東京やブラジルでの勤務を経験。その後の南米の旅では人々の多様な生き方に触れ、「人と違っていてもいいんだ。だからこそ、自分のルーツを大

事にしたい」との思いを強めたという。

トークの合間には、ラテン音楽に秋田弁の歌詞を付けた「Oi Bamba! (オイバンバ)」など計6曲を披露し、会場を盛り上げた。

現在は父であり、松庵寺の隣に開業したカフェのオーナーも務める渡邊さん。「人生は諸行無常で、全ての物事は縁によってなる」とし、「変わっていく自分を楽しんで、人に優しく、輝く今を生きたい」と締めくくった。

市民おもしろ塾は2016年から活動。原則月2回、講演会や研修会を開いている。今回は21日に行われ、約100人が参加した。

(石井ひかり)



弾き語りを披露する渡邊さん